





# 「作新民。」その“人間力”で 世界を変える、未来をつくる！

作新学院は、幼稚園から大学・大学院までを擁する総合学院に発展しました。

132年の歴史を紡ぐ中、甲子園史上初の春夏連覇から、リオオリンピックにおける萩野公介選手のメダル獲得まで、作新学院は、常にグローバルな視野、新たな未来を自ら切り拓く高い行動力を持った人材を輩出し続けています。

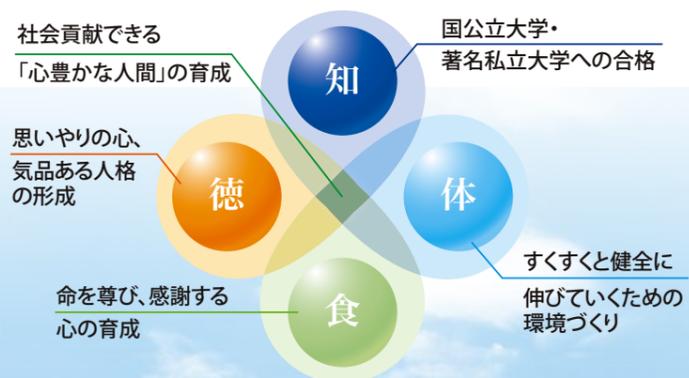
「作新民。」その人間力で、世界を変える、未来をつくる。私たち作新学院は、生徒一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばし、将来の夢が実現できるように、全力でサポートしていきます。



学院長  
船田 元



理事長  
畑 恵(船田 恵)



## 脈々と継承される、建学の精神

日本が世界に門戸を開き、文明開化華やかになりし1885（明治18）年、本学院は世界に知を求めんとする同志が集まり、英学塾として誕生しました。

「作新」の名前の由来は、中国の古典『大学』の一節、「日々新たにして、又新たなり。新しき民を作せ（作新民）」にあります。毎日変化し続ける世の中に役立つ、最新の知識を持った人材、自らを新しくする自律的な人間を作ろうという意味です。そしてこれが、作新学院の建学の精神なのです。



創立者 船田兵吾  
(1868～1924)



永き伝統を受け継ぎながら常に新しい“挑戦”を。  
すべては次代のために。



アットホームな日常が絆“を強くする。”



## 「一校一家」の校風のもと、家族のような一体感が学校生活を豊かにします。

先生や友人との深い絆があるからこそ、勉強や部活に一生懸命打ち込める。

中等部生は同じ目標と高い目的意識を持った仲間たちに囲まれ、充実した毎日を過ごしています。密度の高い授業、本気で打ち込む部活動、先生や友と語らう貴重な時間…日常の一点一滴が子供たちの成長をより大きなものにしていきます。

互いに切磋琢磨する環境のもとでも友人を思いやり、そして励まし合う姿は中等部で顕著に見られる特徴のひとつです。一校一家の校風のもと、中等部時代に育まれた友情は必ずや一生の宝になるにちがひありません。



### 中等部の日



**登校**  
AM 8:00  
朝の登校の風景です。宇都宮市内だけでなく、県内各地から登校してきています。



**朝の読書**  
AM 8:25  
各自が本を持参して、10分間集中して読書を行います。読書ノートに読み終えた書名を記録しています。



**1時限**  
AM 8:50  
数学の授業。疑問に思った点は、どんどん積極的に質問します。



**3時限**  
AM 10:50  
書道の授業。今日の課題は「好きな一文字」。精神を集中して書きあげます。



**昼休み**  
PM 1:10  
アクティブホールでの友人との語らいは楽しいひとときです。



**5時限**  
PM 1:20  
理科の授業では、実験を通して考察を深めていきます。



**7時限**  
PM 3:20  
英語の授業では、互いの意見を発表し合うことで英会話のスキルアップを目指します。



**部活動**  
PM 4:30  
部活動では互いに切磋琢磨し、仲間との絆が強まります。



**下校**  
充実した学校生活。一日を振り返りながら帰宅の途に就きます。



**英語** 外国人教師から生きた英語を学びます。英会話の授業は、2人の教師によるチーム・ティーチング。英語が自然に身につくよう工夫された楽しい授業です。

## 生徒一人ひとりの学習進度に合わせた万全のサポート体制。

授業時間の確保、サポート力に価値がある。

現在の教育改革を先取りした形で、早くより少人数クラス編成(1クラス30人程度)を実践。全教室冷暖房完備で快適な学習空間の下、生徒一人ひとりの学力を最大限に発揮できるよう、週2日の7時間授業、少人数による個別指導、複数教員による教科指導、国語・数学・英語などの時間を多く確保するなど、本校独自のカリキュラムを編成しています。また、友人・教員との心の交流を大切にすることで、各自の個性をのびのびと育てていくことを目標としています。



中等部長 上野 栄一

教育課程表

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術家庭	外国語	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	計
1年	4.3	4	4.7	4	1.3	1.3	3.4	2 技術I 技術II	4	1	1	2 保健体育 特別活動	33
2年	5	3	5	4	1	1	3	2 技術III 家庭	5	1	1	2 保健体育 特別活動	33
3年	5	4	5	4	1	1	3	1 家庭	5	1	1	2 保健体育 特別活動	33
計	14.3	11	14.7	12	3.3	3.3	9.4	5	14	3	3	6	99

月・水・金曜日は6時間授業、火・木曜日は7時間授業です。毎朝10分間読書を行います。



**理科** 理科の授業では、観察や実験について深い考察を行い、科学的な思考力の土台をつくります。



**数学** 公式や定理を用いて答えを出すだけでなく、論理性も学んでいます。



**国語** 子どもたちの生き生きとした表情が密度の濃い授業を物語っています。



**情報処理** インターネットに対応した最新のコンピュータ設備。様々な資料を扱い時代に対応する力を育てます。



**音楽** 大好きな音楽科の授業。合唱でみんなの心がひとつになります。



**家庭科** 男女共学の家庭科の授業。実習を通して、相互理解と協力の必要性を学んでいます。



**美術** 美術の授業では、一人ひとりの個性を大切に、創造力を育みます。



**習字** 習字では行書の基礎を理解し、漢字を書くことの楽しさを味わいます。



**社会** 視聴覚室にて。最新の設備と、わかりやすく丁寧な指導により、確かな学力が身につきます。



たくさんの出会い・経験を経て「人間力」を豊かに。  
人間力向上につながる「挑戦」をしっかりサポートします。

## 社会貢献活動

様々なボランティアプログラムを通じた社会貢献の経験から、社会に自らの能力を還元できる人材としての資質を養います。

世界の人々の平和を願い、互いに理解し助け合う心を育みます。

### タンザニア さくら女子中学校との交流

#### ◆アフリカの子もたちと心の交流

中部部から日本文化を紹介する作品を贈り、タンザニアからはメールを送ってもらったちで交流しています。



自然を大切に、未来の地球に目を向ける心を育みます。

### 足尾の植樹 ボランティア

「足尾植樹祭」に毎年参加し、緑の再生活動をしています。



十数年前からの植林が成長し、緑豊かになりました。

自分たちにできることを考え、実践できる心を育みます。

### 「オール作新」による 被災地復興支援活動

- ◆東北宿泊研修旅行にて植樹・交流会
- ◆募金活動
- ◆メッセージ団扇作成



気仙沼にて植樹

1・2年生は、東日本大震災について事前に調べ学習などを行った上で被災地へ赴き、震災に遭われた方のお話を伺い、津波の被害を防ぐ防潮林の植樹を行います。3年生は神戸で阪神淡路大震災の復興の様子などを見てきます。3年間を通じて「震災学習」に取り組むことで、災害に対する意識を高めています。



熊本地震募

ひとりの小さな活動が大きな力に。諦めない心を育みます。

### ecoプロジェクト ペットボトルキャップの回収 800万個 達成!!

ユニセフに寄贈され、発展途上国の子どもたちへのポリオワクチンに代わり、平成20年度から約10,000人分の命を救ってきました。また、CO2削減量は63,700kgに相当します。



### アフリカ1万足 プロジェクト

靴が履けずケガをしてしまうアフリカの子もたちを救うために、履けなくなった靴を集め、3年間の1万4705足をアフリカ各地に送りました。



## 英検2級の成績 を称えられ、 文部科学大臣賞受賞!! その後 英検1級合格!!

3年 原田 伊織 さん



この度、英検2級のスコアで満点を取ったことで文部科学大臣賞をいただけて本当に光栄です。このようにアメリカに滞在して蓄積した知識を認めてもらえたことは、大変自信につながりました。

ただ、帰国子女であることでクラスメートや友達に「英語は簡単でしょ。」と言われると返す言葉に困ることもありました。もちろん今の私だけを見たら、英語をすらすらと話すところしか知らないのは仕方ないことです。しかし、4年程前の私は、現地校に転入したばかりで、全く周りの英語を理解することは出来ていませんでした。先生たちの力を借りて努力した結果、1年後には現地の友達と会話出来るくらいまで上達したのです。

英検は、単語の存在が大きく、参考書を使って単語を集中的に勉強しました。次に読解力も重要です。日本語とは印象の違う英語の文章を読み解くことで、英検の長文も楽に読めるようになっていきました。

英検1級も取得することが出来、次のようなことに気づきました。それは、英語という知識は今後絶対に欠かせなくなるということです。海外進出をしている企業も多く、将来的には英語が話せるということが特別ではなくなってくるはずですよ。

英語を楽しく感じてほしい、というのが私の本音です。無理矢理覚えるより、こんな感じなのか、と思う方が言語として好きになれると思います。英検であれ、テストであれ、努力が結果になって出てきます。これから私はTOEICに挑戦しようと考えています。皆さんも、英語に親しみを感じてもらえたら、嬉しく思います。今回の結果を喜んでいただいた中部部の先生方、本当にありがとうございました。

## 海外研修

中部部生と高校生と一緒に海外にて直接異文化体験をすることにより、世界に向かって視野を広げます。

### シアトル・ワニタ高校研修 (本学姉妹校)

アメリカ合衆国シアトルにある「ワニタ高校」にて、英語の授業をはじめ現地校生たちの授業に参加し語学を学びました。

また、市内見学や異文化の人々とのコミュニケーションに直接ふれる機会にも恵まれ、ホームステイを通して生徒たちが自立していく様子も伺えました。帰路にロサンゼルスに立ち寄り、ハリウッド市内観光を満喫し、ディズニーランド・パーク見学を行いました。

現地での自己管理や自己表現の在り方など、この研修で得た経験が生徒たちの将来に生かされることを願っています。



ワニタ高校にて



ディズニーランド・パークにて

中部部時代に培った人間力を未来につなげる。

全員が参加する多彩な行事では、親しい仲間とのより強い絆を深めます。

私学ならではの多彩な年間行事。



4月 入学式  
校外学習  
新たな出会い、感動を大切にします。活動を通し、仲間や教師との親睦を深めます。

5月 修学旅行  
3年生の修学旅行(3泊4日)。グループ行動を通し、仲間と楽しく触れ合います。  
農業体験学習「リンゴの摘果作業」  
食育の一環として1年生全員で農業体験をします。1株の中で元気な実を1つ残し、他を切り取る作業を行います。

6月 生徒会総会  
宿泊体験学習  
大自然の中での様々な体験プログラムを通し、命の大切さを学び、達成感を得るなど心を育み、身体を鍛えます。  
校内中学生の主張コンクール

7月 合唱コンクール  
クラスごとに練習を重ね、美しいハーモニーを競い合います。心をひとつにして歌い上げた後には大きな達成感が得られます。

8月 夏季補習  
5教科の授業を実施し、基本事項を確認しながら基礎学力の定着を図ります。

9月 運動会  
クラス対抗の運動会。幾つもの競技に参加して、クラスの絆と学年を越えた親睦を深めます。

文化祭  
文化祭は文化活動の見せどころ。クラス全員で協力し合った研究内容をお見せします。  
創立記念日



10月 英語スピーチコンテスト  
中学生の主張コンクール  
農業体験学習「リンゴの収穫作業」

11月 長距離走大会  
日頃鍛錬した体力を試す絶好の機会。完走できた達成感と充実感が得られます。

感謝祭  
生徒が持ちよった果物や野菜を各施設に贈ります。キリスト教の愛の精神に基づく行事です。

12月 クリスマス 礼拝  
厳かなクリスマス礼拝・祝会。

1月 百人一首かるた会  
百人一首を覚えて競い合います。

2月 立志式  
スキー実習  
壮大な自然の中で仲間と楽しむスキーは格別。インストラクターの徹底指導で、みるみる上達します。

3月 卒業式

年間を通じた中等部の制服バリエーション 冬の制服～夏の制服





仲間と過ごす充実した時間が、個性と協調性を伸ばします。

共に響き合う心を育む時間。

サッカー部



野球部



陸上競技部



水泳部



吹奏楽部



演劇部

体操部



バスケットボール部



剣道部



書道部



社会研究部



英語部



科学部



調理部



美術部

部活動の実績(過去5年間)

野球部

- 2017年首都圏私立中学校野球大会/準優勝
- 2018年首都圏私立中学校野球大会/優勝

水泳部

- 第36回関東中学校水泳競技大会 男子200M、400M個人メドレー 出場
- 女子100M、200M青泳ぎ・400M自由形・400Mメドレーリレー 出場

体操部

- 栃木県中学校新人体育大会体操競技大会 男子団体総合 優勝
- 宇河地区中学校春季体育大会体操競技大会 女子団体総合 優勝

書道部

- 第52回全国書初作品展覧会/文部科学大臣賞
- 第2回成田山全国競書大会/文部科学大臣賞

吹奏楽部

- 第14回関東吹奏楽コンクール 銅賞
- 第14回・16回・17回・18回関東アンサンブルコンテスト サックス・フルート・打楽器部門 銀賞
- 第53回・54回・55回栃木県吹奏楽コンクール 中学校A部門 金賞

ほか

Message



森 翔音 さん

サッカー部 部長  
(宇都宮市立雀宮南小学校 出身)

仲間との絆

サッカーはチームスポーツですが、勝利のためには仲間との競争も時には必要になります。それはポジション争いです。レギュラーに選ばれるためには、仲間と競わなくてはならない場面もあります。お互いをライバルとして意識し合うことで、学年を超えて一人ひとりが実力を高め合うことが出来ました。また、中等部に入学し、勉強だけでなく部活動に入ることによって、同級生だけでなく先輩や後輩ともコミュニケーションを取る機会が増えました。勝利に向かって力を合わせることで、仲間との協力の重要性も感じられました。部活動は、仲間と競争したり協力したりすることが出来る場所で、仲間との楽しい学校生活を送れます。部長として部員をまとめる難しさも日々感じています。それが人間としての成長につながっていると思っています。僕はサッカー部を通じて多くのことを学ぶことが出来たので、ぜひ、受験生の皆さんも、中等部に入学したらサッカー部に入部してください。

Message



田崎 香乃 さん

吹奏楽部 部長  
(鹿沼市立北小学校 出身)

仲間の大切さと感謝の心

私たち吹奏楽部は、毎日元気に楽しく活動しています!私はこの部活動を通してたくさんの大切なことを学びました。一つは仲間の大切さです。吹奏楽は一人では出来ないもので、大勢の仲間がいるからこそ活動できます。そして、楽器を使いながら、お互いに切磋琢磨し合ったり、助け合ったりすることで一人ひとりの技術が向上し、厚みのあるきれいなハーモニーを作り出すことが出来ます。仲間と奏でる音楽が、聴いている人に感動を与えられることにもすごくやりがいを感じています。二つ目は、感謝の心です。毎日部活動が楽しく出来るのも、先生方や保護者の方が協力して下さっているおかげです。また、卒業された先輩方もよく中等部を訪れて応援をして下さいるので、すごく練習の励みになっています。たくさんの人たちの支えがあってこそこの部活であり、大切な仲間がいるからこそ出来る部活動です。このことを頭に入れて、これからも感謝の心を忘れず、目標に向かって、日々努力していきたいです。



# 見事志望大学に合格した中等部の先輩たち。

## Q 中等部時代はどんな学校生活でしたか？

- 大宮** 陸上部で毎日練習していましたが、**普段から予習復習**を必ずやっていました。
- 小林** バスケ部の副部長を任せられ、平日はもちろん、休みの日も練習に精を出していました。とにかく**毎日の授業に集中**していました。
- 郡山** 1年生の頃から始めていた自学ノートを有効活用していました。単にノルマをこなすのではなく、**自分の弱点を見極めながら計画的に学習**しました。そうした学習の習慣が、高校生になっても生きていました。
- 石川** **先生たちのアドバイス**に素直に耳を傾け、**予習復習と自学**に努めました。これでコンスタントに勉強を続けることができました。

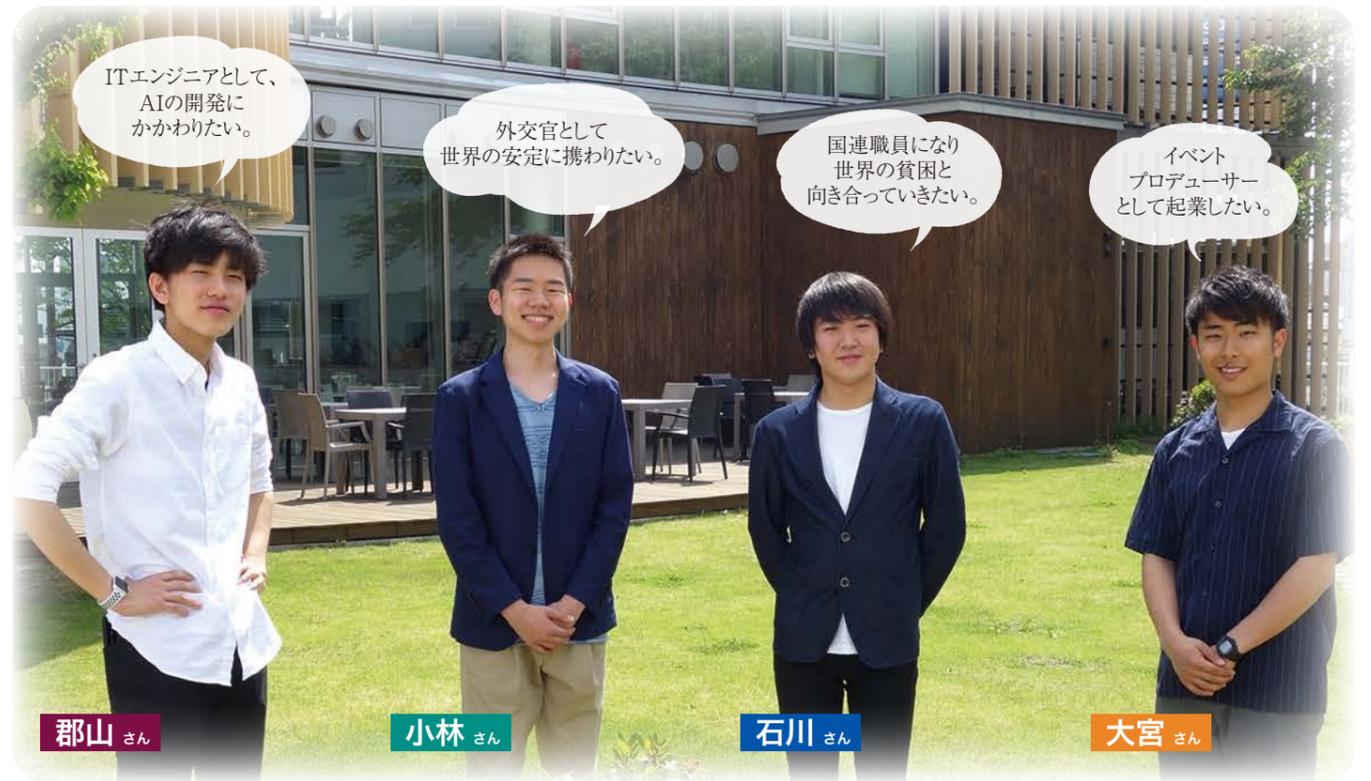
## Q 今振り返って、中等部の環境はどんなものでしたか？

- 郡山** 一言でいうなら**学べる環境**でした。現在、多くの仲間がいるいろいろな大学に合格していることからわかるように、「**光る原石**」が**中等部にはゴロゴロいた**ように思います。今、中等部時代を振り返ってみると、本当にすごいところで学生時代を過ごしていたように思います。
- 石川** 自分は、中1から**トップ英進部**への進学を希望していました。高校や大学受験で、受験に対する不安がありました。そんな時、**頑張っている友達**の姿に刺激を受け、自分も頑張ろうという前向きな気持ちになれました。作新には、中等部や高等学校にも、**一生懸命に頑張る姿が溢れていました**。やはり、夢に向かって道を拓いていくには、**自分の力を引き出してくれる環境**の存在は不可欠だと思いました。
- 小林** 一生懸命という姿は、勉強に限ったことではなく、学校生活全体にあったように思います。例えば、合唱コンクール。とにかく、一人ひとりが優勝をめざして突っ走りました。**勉強だって合唱(行事)だって「やるぞ!任せておけ!」という雰囲気**が当たり前のようにあって、みんなで全力で臨みました。
- 大宮** 中等部の環境の良さというのは、仲間だけではなく、先生方の面倒見もよかったです。自分たちのことを見かけると何かしら声をかけてくれました。**アウトホームな雰囲気**を**自然体で作りに出してくれていました**。それでいて、ここぞというときには真剣に叱ってくれました。

## Q 中等部から作新学院高等学校へ進学した理由は？

- 石川** 中等部の先生方はとても温かく接してくれて心地よかったです。**先生と生徒の距離が近い**ような気がしました。そうした環境の中で**自分自身を変えることができました**。高等学校にも、熱心にアドバイスをして自分を導いてくれるような、そんな**雰囲気**がありました。そんな作新が自分に合っていました。高等学校でも、そうした**作新の力を借りて自分の力を伸ばしたい**と考えました。実際、**トップ英進部**へ進学して本当によかったと思います。**先生方は付きっきりで指導**してくれました。作新には人として尊敬できる先生が多かったと感じています。

良き師・良き仲間と過ごした時間がその後の豊かな人生の礎となる。



郡山 さん      小林 さん      石川 さん      大宮 さん

### 東京大学

教養学部理科一類  
郡山 拓也 さん

- ▲ 宇都宮高等学校
- ▲ 中等部(平成27年度卒)
- ▲ 那須塩原市立三島小学校

### 慶応義塾大学

法学部政治学科  
小林 真脩 さん

- ▲ 宇都宮高等学校
- ▲ 中等部(平成27年度卒)
- ▲ 宇都宮市立城東小学校

### 東京大学

教養学部文科二類  
石川 亮太 さん

- ▲ 作新高校 **トップ英進部**
- ▲ 中等部(平成27年度卒)
- ▲ 鹿沼市立さつきが丘小学校

### 慶応義塾大学

経済学部  
大宮 悠太郎 さん

- ▲ 宇都宮高等学校
- ▲ 中等部(平成27年度卒)
- ▲ 作新学院小学部



石巻にて被災地支援活動を行いました。



修学旅行では友情を深めました。



筑波大学 茗溪会顕彰式にて表彰を受けました。



平泉で歴史と文学に触れました。

# 世界で活躍する先輩たち。



## 2016年 スポーツクライミング 世界選手権で日本人初優勝!!

TEAM au 所属  
榎崎 智亜 さん

- ▲ 宇都宮北高等学校
- ▲ 中等部(平成23年度卒)
- ▲ 小学部
- ▲ 作新学院幼稚園

作新学院中等部は、先生と生徒の距離がとても近く、家族のような環境で、3年間があっという間でした。毎日、みんなで笑いあい、楽しく過ごしていました。今でも当時の仲間と交流があり、エールをもらいながらクライミングに取り組んでいます。後輩のみなさんには、この豊かな環境のもとで大切な仲間と出会い、自分自身の輝けるもの、夢中になれるものを見つけ、この学校で良かったと思える中学校生活を実りあるものにしてほしいです。



ブリヂストン 所属  
萩野 公介 さん

- ▲ 作新高校 **英進部**
- ▲ 中等部(平成21年度卒)
- ▲ 小山市立羽川西小学校

2016年 リオオリンピック  
400m個人メドレー 金メダル  
200m個人メドレー 銀メダル  
4x200mリレー 銅メダル



中等部時代の萩野さん。水泳部の仲間と

僕は中等部時代、遠征や合宿の時は教科書や友人たちが用意してくれたノートを持って行って勉強していました。中等部3年生の頃、ロンドン五輪代表になるための派遣標準記録を突破し、世界を目指すことを意識しました。練習全体を純粋に楽しむことで心が強くなり、ロンドン五輪やリオ五輪でも最大限の実力を発揮できたのだと思います。今後も努力を重ね2020年の東京五輪を迎えたいです。

知性と教養の習得を目的とし、人間力を高める。

# 「作新アカデミア・ラボ」

地球の未来を創造する  
いのち  
「知と生命の実験場」



**クエスト・ラボ**  
台形型テーブルや勾玉型テーブルが面白い！机や椅子は自由に組み合わせたり移動できるので、アクティブラーニングやディスカッションを効果的に行うことができます。



**パッセージ・スペース**  
廊下の窓に面したカウンターデスクからの眺めは抜群。風景と共に学習に励む。パソコンでデータ収集も可能。



**ダイニング・ラボ**  
明るくお洒落な空間で、昼食時は栄養バランスのとれたランチを提供し、授業では食育についての講義などで活用します。また、学院を訪れた人々の憩いのスペースとしてお使いいただけます。



**ランゲージ・ラボ**  
高速大容量のWi-Fi環境が整ったラボは、世界とつながる起点となります。また、ブースで仕切られたスピーキングエリアでは、自分にあった語学学習ができ、DVDを視聴しながらリラックスした時間を楽しむことができます。



**コンビニエンスストア**  
「ヤマザキYショップ」が利用できます。生徒と企業のコラボ商品や「さくしろう」のキャラクター商品、学院指定用品も販売。



**ライブラリー（資料展示室）**  
全面ガラス張りのショーケースには、甲子園春夏連覇の優勝旗、世界・全国大会等大会優勝の記念の品々、学院ゆかりの文豪達の愛用品などが展示されています。



校舎側のテラス



## 食育菜園（エディブル・ガーデン）

近隣の方々に指導を仰ぎ子ども達が自分で種を蒔き、育て、収穫します。自分達が育てた食材を調理し、食すことにより、生命のサイクルを実感し、自然環境や命の大切さを学びます。



## アカデミア・ステージ

子ども達が登下校するゲートでは、「フォトモザイク」をご覧になれます。園児・児童・生徒から教職員まで輝く笑顔が皆さんを迎えてくれます。



## 学校説明会のお知らせ

2018年(全2回) ●ご都合のよい日にご来校ください。(駐車場あります)

第1回 8月25日(土) 第2回 10月14日(日)

場所: 作新学院 聴蛙館3階・4階 開催時間: 10:00~11:20  
※受付は9:30開始

公開授業参観 10月6日(土) 場所: 中等部各教室 開催時間: 9:00~11:00

### 聴蛙館



ご参加いただければ、募集要項・入学願書・昨年度の入試問題(無料)など必要な物全てが手に入ります。また過去5年間の入試問題集も1,900円+(税)にて販売いたします。

### 沿革

昭和22年 戦後の学制改革により中等部発足  
 昭和25年 外国人教師による英語教育の授業が始まる  
 昭和29年 副院長船田小常の発案によりクリスマス祝会・花の日訪問・感謝祭の行事を開始する  
 昭和35年 マラソン大会・スキー実習等の実施



▲小・中等部併用校舎(昭和43年頃)



▲昭和49年頃 理科の授業風景

昭和52年 中等部から公立高校受験を認める制度に改める  
 昭和58年 新生中等部第1期生を募集 5教科の授業時間を増やし英才教育を開始する  
 昭和63年 鉄筋コンクリート4階建ての中等部新校舎が完成

平成 6年 多目的教棟(鉄筋コンクリート3階建て)が竣工 コンピュータ教室が新設  
 平成15年 足尾の植林ボランティア「フォーラム in 足尾」に参加する  
 平成16年 国語・数学・英語の3教科で少人数制、TT授業を導入  
 平成21年 小中食堂棟が竣工  
 平成22年 新入生より新制服になる  
 平成23年 「オール作新」による東日本大震災支援活動を開始  
 平成24年 3学期制の実施  
 平成26年 3学年の修学旅行に神戸が新たに加わる

真の「グローバル・エリート」育成をめざし、  
学力最上位層の未来を創造する。



多くの東大合格者を輩出してきた各教科のエキスパートであるスーパーバイザーの指導のもと、東大・京大・国立大医学部など最難関大学合格に向けた思考力を深める授業を展開し、一人ひとりの学力を最大限に伸ばします。

トップ英進部 **SI・SII** クラス

**CHECK 1** 国際社会で活躍するグローバル・エリートに必要な英語力と、世界を見つめる広い視野と行動力を育む

世界は真のグローバル・エリートを求めています。英語の授業では、そのために必要な実践的な英語力を伸ばします。さらに、英語力を磨き、国際理解を深める絶好の機会が、世界最高峰ケンブリッジ大学での語学&グローバル研修です。これは通常の語学研修とは異なり、同大の現役教員と学生の協力のもと、トップ英進部・英進部のために組まれたまさに画期的な専用のプログラムであり、世界各国からの留学生や現地の学生との交流を通し、世界市民としての自覚が強まります。

**CHECK 2** アクティビティ=参加型授業で、最難関大学の2次試験を突破することができる総合的な「思考力」を磨く

アクティビティとは、「アクティブ・ラーニング」のこと。教師による「講義形式の授業」ではなく、グループワークやディスカッション、プレゼンテーションなどを中心とする、生徒が能動的に学習に臨む「参加型授業」です。学習テーマも幅広く設定されているため、学習への主体性が高まり、最難関大学の2次試験や大学の学習で求められる思考力や分析力、さらには表現力や発表力も磨かれます。

英進部 **英進選抜・英進** クラス

**CHECK 1** Study Skills 内容の濃い授業を実践シラバスも充実



英進部では、難関国立・私立大学の現役合格を十分に意識したレベルの高い授業を行います。

**CHECK 2** 難関大学攻略に向けたプログラムが充実  
ハイレベルな校内模試で、実力アップ!

2017 第3学年(トップ英進1期生) 第1回校内模試 成績分布 教科別クラス間比較

教科	作新学院	東大	京大	東工大	東大(医)	京大(医)	東大(理)	京大(理)	東大(工)	京大(工)
国語	85.2	82.1	81.5	80.8	79.3	78.9	78.4	77.8	77.2	76.8
英語	88.5	85.4	84.8	84.2	82.7	82.3	81.8	81.2	80.6	80.2
数学	78.9	75.8	75.2	74.6	73.1	72.7	72.2	71.6	71.0	70.6
理科	82.3	79.2	78.6	78.0	76.5	76.1	75.6	75.0	74.4	74.0
社会	80.1	77.0	76.4	75.8	74.3	73.9	73.4	72.8	72.2	71.8
総合	84.7	81.6	81.0	80.4	78.9	78.5	78.0	77.4	76.8	76.4

難関国立大学の入試内容を意識した高レベルの問題を出題する校内模試を受験することにより「ワンランク上の自分」をめざします。

2018年度 難関大学合格実績

東京大学合格 **3**名

うち現役2名

国公立大学 **80**名 **67**名 現役合格

東京大学	3名
東北大学	7名
横浜国立大学	1名
千葉大学	1名
東京藝術大学	1名

私立大学 **777**名 GMARCH以上の  
難関私大 75名

慶應義塾大学	4名
早稲田大学	7名
上智大学	2名
東京理科大学	14名
立教大学	4名

医歯薬系大学 **36**名 医7名 獣3名  
歯9名 薬19名

獨協医科大学 医学科	2名
帝京大学 医学科	1名
岩手医科大学 医学科	2名
日本大学 獣医学科	1名
日本歯科大学 歯学科	1名

県内私立高校トップの国公立大学合格実績！  
宇都宮大学合格は私立高校 No.1 の実績

国公立大学合格 **478**名 過去5年間の合格実績

県内私立高校  
トップ

宇都宮大学合格 **91**名 過去5年間の合格実績

県内私立高校  
トップ

これまでの主な合格大学

- 東京大学 京都大学
- 一橋大学 東京工業大学
- 東北大学(医) 広島大学(医)
- 山形大学(医) 長崎大学(医)
- 秋田大学(医) 九州大学
- 大阪大学 東京外国語大学
- 慶應義塾大学 早稲田大学
- 上智大学 国際基督教大学
- 東京理科大学 ほか多数

東京大学 文科二類 **2018年現役合格**



石川 亮太 さん  
◀トップ英進部 ▶作新学院中等部

中等部からトップ英進部までの先生方の熱心な指導やアドバイスのお陰で今の自分があると心から感謝しています。

自治医科大学 医学部医学科 **2015年現役合格**



和久井 萌音 さん  
◀英進部 ▶作新学院中等部

作新学院で培った精神を忘れずに、将来は栃木県の地域医療に貢献したいです。